

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月14日

上場会社名 浜井産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6131 URL <http://www.hamai.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武藤 公明
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理担当 (氏名)山畑 喜義 (TEL) 03-3491-0131
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,771	3.1	427	2.7	401	4.6	430	22.9
2020年3月期	5,595	△1.3	416	97.5	384	100.6	349	124.1
(注) 包括利益	2021年3月期		553百万円(51.6%)		2020年3月期		365百万円(393.9%)	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率	
	円 銭	円 銭	%	%	%	
2021年3月期	125.01	—	28.9	5.2	7.4	
2020年3月期	101.69	—	34.0	5.2	7.4	
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期		—百万円	2020年3月期		—百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産		
	百万円	百万円	%	円 銭		
2021年3月期	7,121	1,765	24.8	512.84		
2020年3月期	8,251	1,211	14.7	351.89		
(参考) 自己資本	2021年3月期		1,765百万円	2020年3月期		1,211百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	510	△62	△580	903
2020年3月期	△195	△140	354	1,035

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年3月期の期末配当予想は、未定とさせていただきます。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	△9.2	220	△34.8	205	△36.0	200	△42.8	58.11
通期	5,800	0.5	420	△1.8	400	△0.5	390	△9.4	113.32

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	3,462,400株	2020年3月期	3,462,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期	20,732株	2020年3月期	20,697株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	3,441,690株	2020年3月期	3,441,785株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	5,767	3.2	411	△6.5	386	△5.0	414	11.5
2020年3月期	5,586	△0.8	440	125.2	406	131.5	371	154.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	120.49	—
2020年3月期	108.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	7,079		1,738		24.6		505.10	
2020年3月期	8,223		1,200		14.6		348.87	

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,738百万円 2020年3月期 1,200百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	2,990	△9.5	200	△34.0	195	△41.2	56.66	
通期	5,780	0.2	390	0.9	380	△8.4	110.41	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け全国に緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が大幅に制限され景気は急速に後退しました。

同宣言解除後は、段階的な経済活動の再開とともに、一部の業種において回復の兆しも見られましたが、本格的な景気回復には至らず、さらに年末年始の感染再拡大に伴い、首都圏等に再び同宣言が発出されるなど、収束時期が見通せない状況が続きました。

こうした状況の下、当社グループは引き続き、新規販売先の開拓や生産現場の体質改善に注力し、生産性の向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は5,771百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は427百万円（前年同期比2.7%増）、経常利益は401百万円（前年同期比4.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は430百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

また、セグメント別では、当社グループは、1工場で作業機械の製造を行い、販売するという単一事業を展開しております。

そこで、セグメント別の「工作機械事業」としては、上記のとおりですが、以下「機種別」に市場動向、販売状況等を補足させていただきます。

① ラップ盤

デジタル家電向の設備投資は、国内外の半導体シリコンウエーハや光学関連部品の加工用設備の需要が堅調に推移しました。中でも、直径300ミリ半導体シリコンウエーハ加工用設備の売上が寄与したうえ、パワー半導体ウエーハ加工用も増加傾向にあります。自動車部品加工用をはじめとする金属部品加工用ファイニングラインディンクマシンの販売はやや伸び悩んだものの、売上高は3,486百万円（前年同期比29.8%増）となりました。

② ホブ盤、フライス盤

ホブ盤では、国内外の釣具関連向の需要が堅調に推移したうえ、中国市場において、各種減速機用や電動工具に使用される歯車加工用設備の売上が寄与しました。また、電気自動車用歯車の加工用設備向にも需要が出てきております。フライス盤においては国内外の需要が伸び悩んだものの、売上高は826百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

③ 部品、歯車

半導体シリコンウエーハ加工用の消耗部品は堅調に推移したものの、ガラスハードディスク基板等の光学関連部品加工用の部品・消耗部品の販売がやや伸び悩み、売上高は1,458百万円（前年同期比31.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は4,102百万円で、前連結会計年度末に比べ1,188百万円減少しております。たな卸資産の減少843百万円、受取手形及び売掛金の減少135百万円、現金及び預金の減少132百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は3,018百万円で、前連結会計年度末に比べ57百万円増加しております。主な増加要因は、投資その他の資産の増加201百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の減少146百万円であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は3,376百万円で、前連結会計年度末に比べ1,822百万円減少しております。短期借入金の減少726百万円、前受金の減少577百万円、支払手形及び買掛金の減少397百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,979百万円で、前連結会計年度末に比べ137百万円増加しております。繰延税金負債の増加75百万円、長期借入金の増加46百万円が主な要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は1,765百万円で、前連結会計年度末に比べ553百万円増加しております。親会社株主に帰属する当期純利益の計上430百万円が主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ132百万円減少し、当連結会計年度末には、903百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は510百万円(前年同期は195百万円の支出)となりました。

収入の主な内訳は、たな卸資産の減少額830百万円、税金等調整前当期純利益431百万円、減価償却費161百万円であり、支出の主な内訳は、前受金の減少額577百万円、仕入債務の減少額397百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動の結果支出した資金は62百万円(前年同期は140百万円の支出)となりました。

収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入125百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出175百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動の結果支出した資金は580百万円(前年同期は354百万円の収入)となりました。

その主な内訳は、借入金の返済によるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国経済は、現下の新型コロナウイルス感染症の変異株を含めた再拡大により、景気の下振れリスクが高まっております。新型コロナウイルス感染症の世界的な再流行により、欧州でも経済活動に大きな影響が見込まれていると同時に、米国と中国の対立も景気の先行きに大きな影を落としており、不透明な状況が続いております。

次期(2022年3月期)につきましては、主力製品のラップ盤については、引き続き、半導体シリコンウエーハやパワー半導体ウエーハ、及び光学関連部品加工用、自動車部品加工用をはじめとする金属部品加工用ファイングラインディングマシンの拡販をはかってまいります。

また、ホブ盤につきましても、釣具関連部品、電動工具用歯車加工用、各種減速機歯車、及び電気自動車向を含む自動車部品加工用等の販売強化に努めてまいります。

以上から、新型コロナウイルス感染症の収束等の先行きが全く見えない状況ではありますが、次期(2022年3月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高5,800百万円、営業利益420百万円、経常利益400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益390百万円を見込んでおります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本基準を採用しておりますが、今後の外国人持株比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,601	903,481
受取手形及び売掛金	1,487,867	1,352,529
商品及び製品	8,887	17,877
仕掛品	2,480,033	1,656,829
原材料	40,344	10,723
その他	237,648	160,721
流動資産合計	5,290,384	4,102,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,050,333	2,039,533
減価償却累計額	△1,536,740	△1,565,942
建物及び構築物（純額）	513,593	473,591
機械装置及び運搬具	1,812,969	1,863,591
減価償却累計額	△1,329,779	△1,429,187
機械装置及び運搬具（純額）	483,190	434,403
土地	1,407,357	1,389,338
建設仮勘定	39,955	5,262
その他	710,803	498,635
減価償却累計額	△676,137	△469,321
その他（純額）	34,665	29,314
有形固定資産合計	2,478,761	2,331,909
無形固定資産		
その他	4,925	7,957
無形固定資産合計	4,925	7,957
投資その他の資産		
投資有価証券	277,304	476,322
その他	215,383	217,732
貸倒引当金	△14,958	△14,958
投資その他の資産合計	477,729	679,096
固定資産合計	2,961,416	3,018,962
資産合計	8,251,800	7,121,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,788,745	1,391,566
短期借入金	1,847,379	1,120,546
1年内返済予定の長期借入金	138,815	238,116
未払法人税等	69,166	—
製品保証引当金	61,990	41,627
前受金	952,219	374,342
その他	340,027	209,992
流動負債合計	5,198,345	3,376,192
固定負債		
長期借入金	1,488,489	1,535,211
繰延税金負債	63,238	138,794
退職給付に係る負債	255,407	269,784
資産除去債務	33,514	33,950
その他	1,710	2,160
固定負債合計	1,842,359	1,979,900
負債合計	7,040,705	5,356,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,213,186	100,000
資本剰余金	165,635	928,930
利益剰余金	△1,281,003	499,132
自己株式	△30,350	△30,401
株主資本合計	1,067,468	1,497,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,953	265,994
為替換算調整勘定	673	1,376
その他の包括利益累計額合計	143,627	267,371
純資産合計	1,211,095	1,765,032
負債純資産合計	8,251,800	7,121,125

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,595,819	5,771,025
売上原価	4,396,860	4,660,128
売上総利益	1,198,959	1,110,897
販売費及び一般管理費		
販売手数料	47,052	29,595
荷造運搬費	73,316	64,692
役員報酬	96,330	95,373
従業員給料	158,488	162,156
従業員賞与	37,188	37,995
退職給付費用	6,416	7,038
減価償却費	51,467	44,043
研究開発費	8,840	16,637
その他	303,456	225,627
販売費及び一般管理費合計	782,556	683,159
営業利益	416,402	427,738
営業外収益		
受取利息	447	115
受取配当金	8,120	8,443
物品売却益	7,780	6,674
不動産賃貸料	4,248	3,180
その他	30,028	5,007
営業外収益合計	50,626	23,421
営業外費用		
支払利息	36,966	38,545
支払手数料	34,827	7,353
その他	10,816	3,304
営業外費用合計	82,610	49,203
経常利益	384,417	401,955
特別利益		
固定資産売却益	36,570	29,955
投資有価証券売却益	862	0
特別利益合計	37,433	29,956
特別損失		
固定資産除却損	1,852	17
特別損失合計	1,852	17
税金等調整前当期純利益	419,998	431,894
法人税、住民税及び事業税	70,340	1,625
法人税等調整額	△323	25
法人税等合計	70,016	1,650
当期純利益	349,981	430,243
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	349,981	430,243

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	349,981	430,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,683	123,040
為替換算調整勘定	△2,188	703
その他の包括利益合計	15,494	123,743
包括利益	365,475	553,987
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	365,475	553,987
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,213,186	165,635	△1,630,984	△30,240	717,596
当期変動額					
親会社株主に帰属 する当期純利益	—	—	349,981	—	349,981
自己株式の取得	—	—	—	△110	△110
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	349,981	△110	349,871
当期末残高	2,213,186	165,635	△1,281,003	△30,350	1,067,468

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	125,270	2,862	128,133	845,730
当期変動額				
親会社株主に帰属 する当期純利益	—	—	—	349,981
自己株式の取得	—	—	—	△110
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	17,683	△2,188	15,494	15,494
当期変動額合計	17,683	△2,188	15,494	365,365
当期末残高	142,953	673	143,627	1,211,095

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,213,186	165,635	△1,281,003	△30,350	1,067,468
当期変動額					
減資	△2,113,186	2,113,186	—	—	—
欠損填補	—	△1,349,891	1,349,891	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	430,243	—	430,243
自己株式の取得	—	—	—	△50	△50
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	△2,113,186	763,294	1,780,135	△50	430,192
当期末残高	100,000	928,930	499,132	△30,401	1,497,661

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	142,953	673	143,627	1,211,095
当期変動額				
減資	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	430,243
自己株式の取得	—	—	—	△50
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	123,040	703	123,743	123,743
当期変動額合計	123,040	703	123,743	553,936
当期末残高	265,994	1,376	267,371	1,765,032

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	419,998	431,894
減価償却費	158,926	161,664
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△16,101	△20,362
受取利息及び受取配当金	△8,568	△8,558
支払利息	36,966	38,545
為替差損益 (△は益)	1,891	△590
支払手数料	34,827	7,353
固定資産売却損益 (△は益)	△36,570	△29,955
固定資産除却損	1,852	17
投資有価証券売却損益 (△は益)	△862	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△279,520	135,526
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,085,497	830,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,553	△397,273
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21,388	14,146
前受金の増減額 (△は減少)	820,574	△577,919
その他	△114,680	50,899
小計	△95,706	635,889
利息及び配当金の受取額	8,568	8,558
利息の支払額	△38,116	△38,581
法人税等の支払額	△34,700	△89,702
法人税等の還付額	—	479
その他の支出	△35,142	△6,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195,097	510,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△142,879	△175,493
有形固定資産の売却による収入	—	125,082
投資有価証券の取得による支出	△1,356	△445
投資有価証券の売却による収入	9,250	0
その他	△5,557	△11,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,543	△62,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,090,000	824,000
短期借入金の返済による支出	△313,916	△1,550,833
長期借入れによる収入	2,089,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△3,510,053	△153,977
その他	△113	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー	354,916	△580,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,186	1,408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,089	△132,120
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,512	1,035,601
現金及び現金同等物の期末残高	1,035,601	903,481

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、単一の事業セグメントとしております。

これは、当社グループの製品及びサービスの製造、販売において、その製造過程や販売する市場、顧客もほぼ同じ種類であり、業種特有の規制環境も同一であることから、1つの事業セグメントとすることが、過去の業績を理解し、将来のキャッシュ・フローの予測を適切に評価でき、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供しうるからであります。

また、この報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、栃木県足利市に唯一の生産のための工場を置き、その工場の生産設備を使って、工作機械を製造し、国内外に販売しております。

したがって、生産設備、資産を製品ごとに区分することは、適切でなく、「工作機械事業」という単一の報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	351.89円	512.84円
1株当たり当期純利益	101.69円	125.01円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	349,981	430,243
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	349,981	430,243
普通株式の期中平均株式数(株)	3,441,785	3,441,690

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,211,095	1,765,032
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,211,095	1,765,032
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	3,441,703	3,441,668

(重要な後発事象)

該当事項はありません。